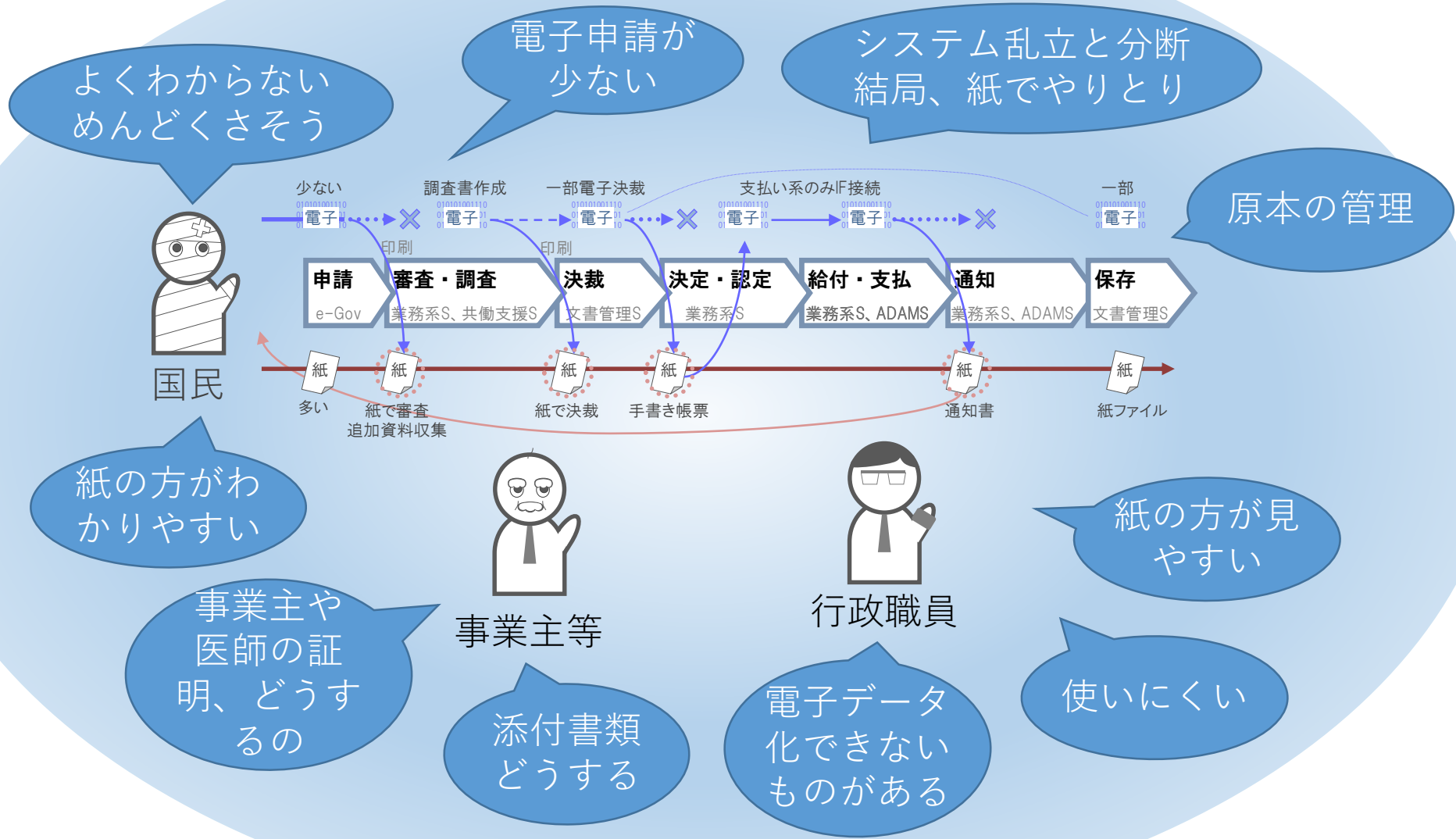


ICT利活用推進チーム グループ1 提言資料

メンバー

土岐 祥蔵 秋山 恵一 植松 久規
長井 政樹 鈴木 健二

電子化のすすめ検討概念 1 -なぜ普及しないのか-



よくわからない めんどくさそう

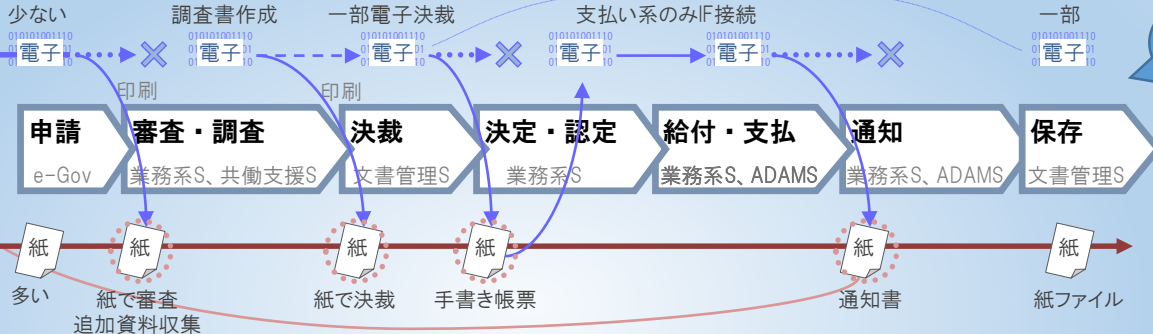
電子申請が 少ない

システム乱立と分断 結局、紙でやりとり

原本の管理



国民



紙の方がわかりやすい

事業主や 医師の証明、どうするの

事業主等
添付書類 どうする

行政職員
電子データ化できないものがある

紙の方が見やすい

使いにくい

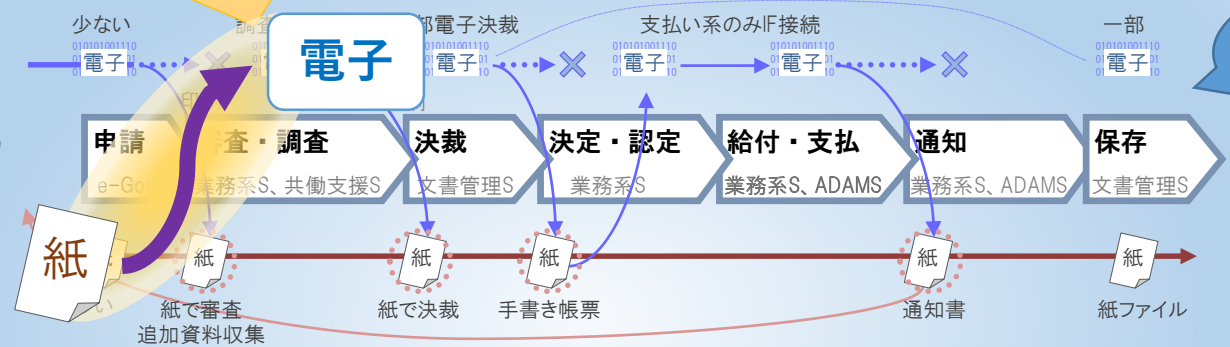
では、紙で申請されても、**後で電子化**すればよい？

システム乱立と分断
結局、紙でやりとり

原本の管理



国民



紙の方がわ

- 様々な問題
- × 入力する負担、業務効率低下
 - × 入力誤り、ゆれ
 - × 外部委託はセキュリティリスク
 - × 不正確なデータは問題の種！
 - × ヒューマンエラーはなくなる



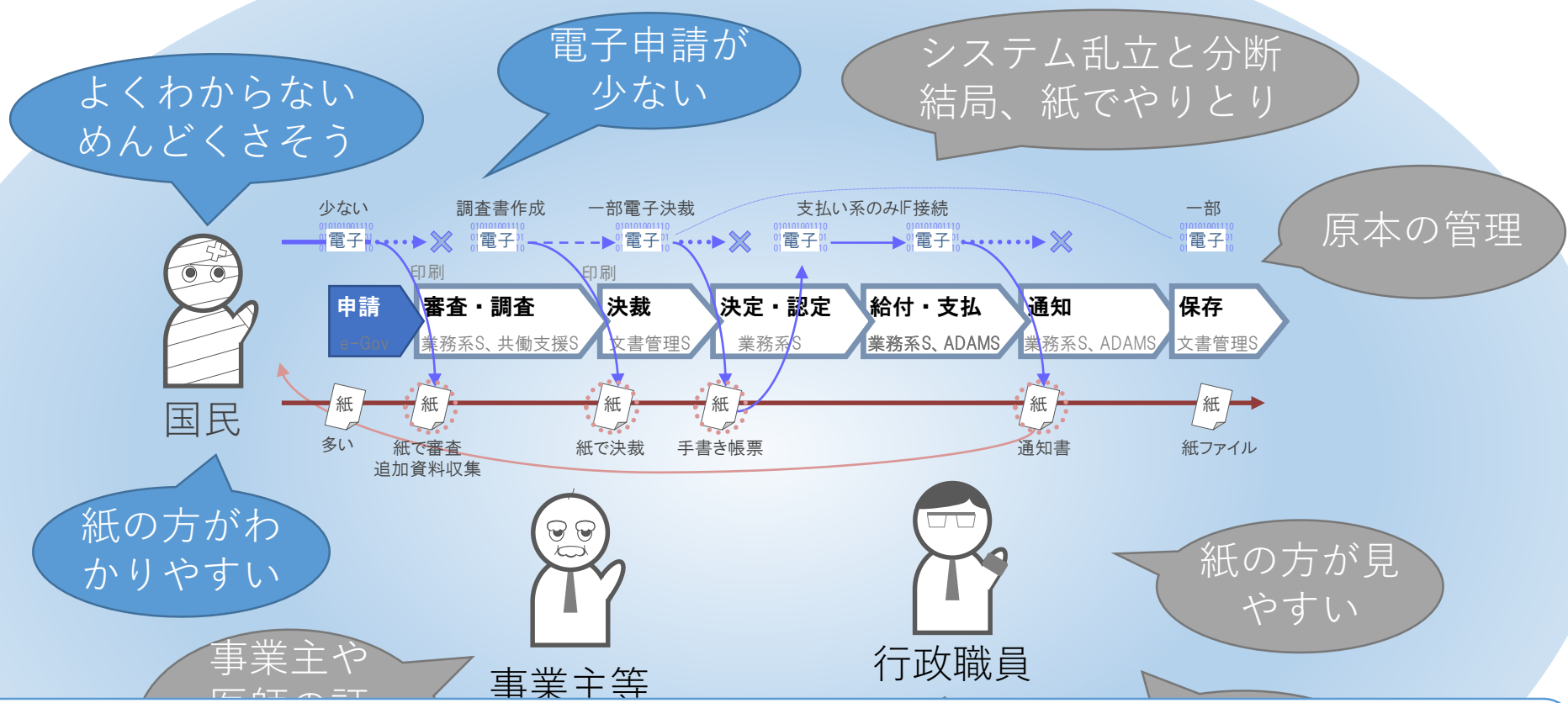
行政職員

紙の方が



行政職員

人力による事後電子化は百害あって一利なし



入口での電子化対策が最重要！

入口が広がったら、内部ではどんな対策が必要？

■ハンドリング改善ソフト！

- ・あらゆるファイルフォーマットを、紙媒体のように自在に扱える
- ・電子化困難資料をイメージデータで
- ・各システム間のデータ連携機能強化（外部IF・APIを整備）

■管理・保管機能！（職員の“まじめ”“ずさん”に関わらず適正に）

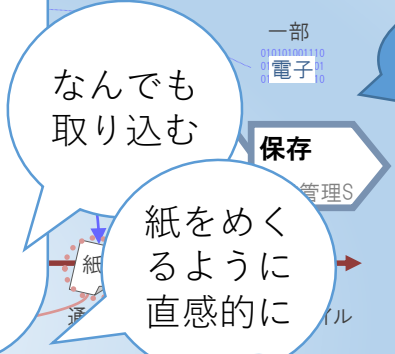
- ・文書管理Sとの連携により、より高度な文書管理
- ・自動的に履歴を取得・保管。
- ・ペーパーレス・電子化！（スマートオフィス）

■セキュリティ！（うっかり、まさかに機能安全）

- ・アクセス制御、履歴やアクセス権などを効率的かつセキュアに管理。

システム乱立と分断、紙でやりとり

原本の管理



紙の方がわかりやすい

事業主や
医師の証



事業主等

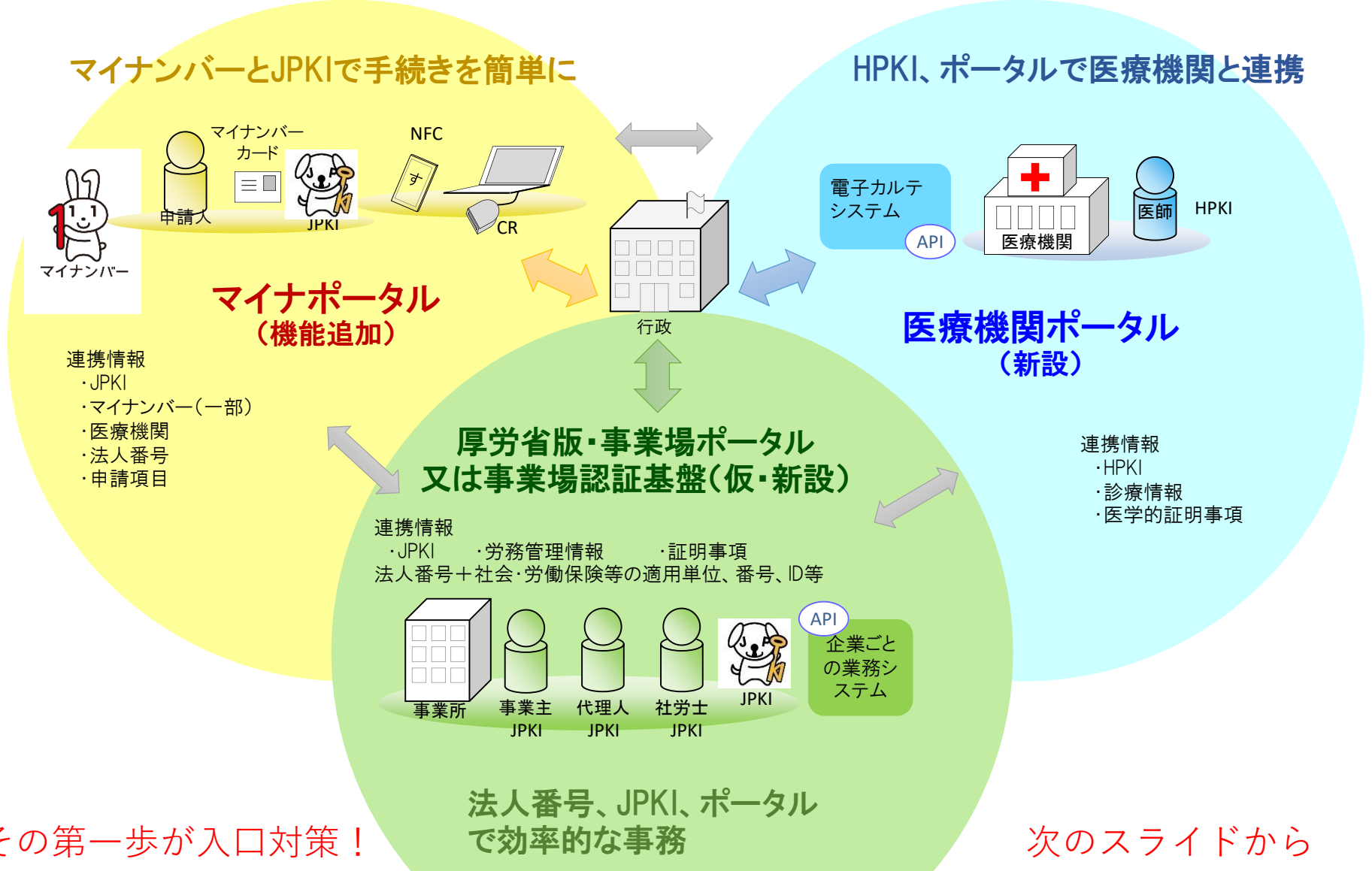


行政職員

無意識にセキュアの方が見やすい

ドキュメントハンドリングの改善！

将来的には、マイナンバーの活用とポータル構築で総合的な電子申請の連携インフラが構築されると想定



その第一歩が入口対策！

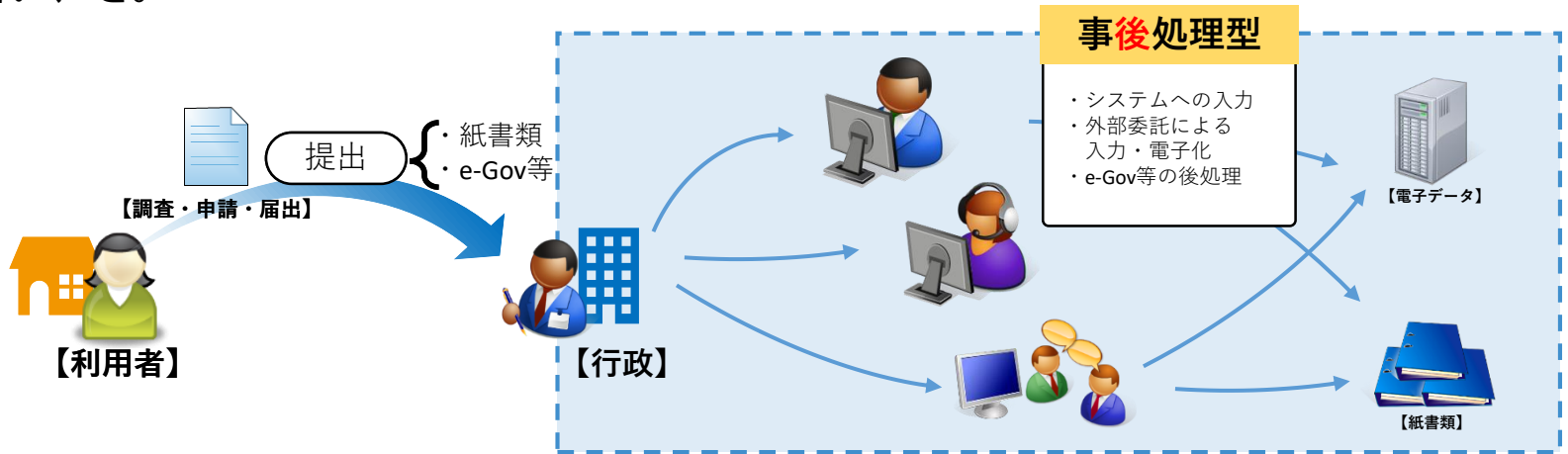
次のスライドから

電子申請・審査の効率化・簡素化の検討

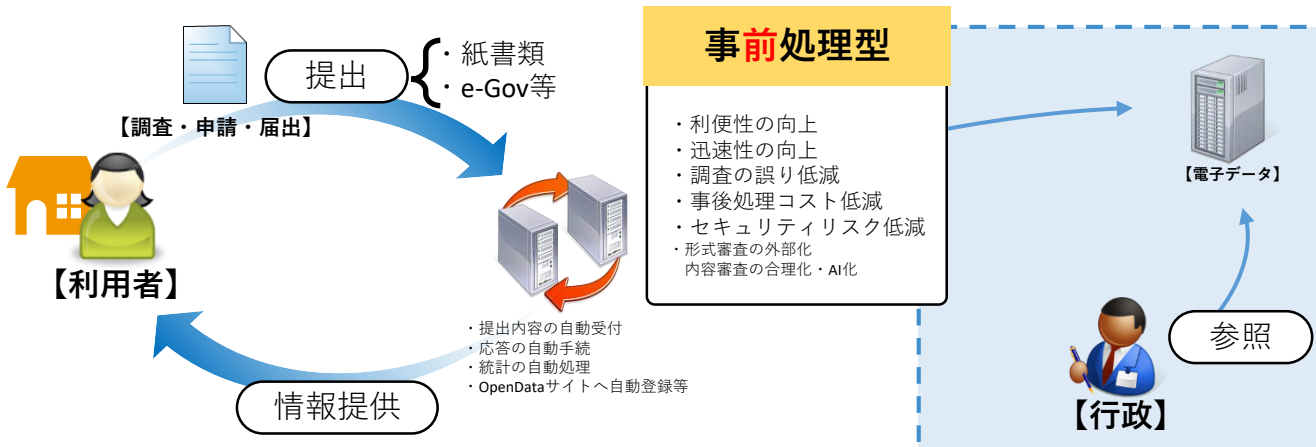
現状、提出された書類を手入力したり、e-Govを用いた電子申請の事後処理に行政職員が相当の労力を割いている、又は外部委託業者への委託によりコストやリスクを生じている。

従来の事後処理型から事前処理型の業務に置き換えていくことにより、国民の利便性の向上と行政の効率化を進めていくべき。

現状



将来像



電子申請・審査の効率化・簡素化の検討

e-Govを用いた電子申請でも事後処理に手間がかかるのは、形式審査や内部審査がシステムで自動化できていないためであるから、①業務に応じた形式審査を精査すること②内部審査の大胆な合理化やAI化を推進することが必要。

試行実施として、個別の業務について①の形式審査の精査と、システムの実証・検証を行う。

本格実施までに、候補となる対象業務の拡大に向けた洗い出しと、②に係る法令の整備や、より複雑なシステムの設計を行う。

平成30年度				平成31年度				平成32年度				平成33年度			
1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
要求・調達				試行実施											
				対象業務の洗い出し・法令の整備 ・システム設計・要求・調達								本格実施			

※試行実施として、オンライン利用状況が比較的高い国税のe-Taxの次の良い点を採用して実施することを想定。

- ・本人確認をせずに帳票の印刷が可能
- ・過去のデータを再利用出来る
- ・入力内容のチェックを受けながら進められる

電子申請・審査の効率化・簡素化の検討

段階毎の、内容と想定されるメリットの整理

【実施内容】

- ・帳票印刷機能
- ・入力時のチェック機能
- ・過去入力内容の再利用
- ・本人確認不要
- ・クラウドシステムによる実現
- ・WebAPI機能
- ・法人番号による入力補助
- ・自動審査補助の試行
- ・設計情報の公表
- ・高速開発技術等の活用
(迅速性の実現)

SETP1



【利用者】

WEBサイトで気軽に提出書類が作れて、便利！
去年の書類も再利用できるんですね。



【行政職員】

不備確認されて、書類提出されるから効率上がるね。
審査補助機能は便利。
法改正への対応も従来より迅速化出来そう。
法人番号利用で情報の標準化にも取り組める。



【社労士・開発者】

行政のチェック事項が公表されているから、業務が効率的に行えます。
齊一的な手続きになって助かる。
法人番号で管理できると我々もやりやすいです。
WebAPI対応していれば多少の法改正があっても、対応コストがかからない。

【実施内容】

- ・e-Gov等(マイナP、個別システム含む)との連携による電子申請
- ・対象業務の拡大
- ・手続きの合理化(添付書類、手続き内容の整理等)

SETP2



【利用者】

厚生労働省のいろいろな手続きについて、本人確認なしでもWEBサイトで提出書類が作れるようになったんですね。電子申請への移行もスムーズ！添付書類や手続き内容の見直しで、少しシンプルになりましたね。
手続き応答が迅速になることも期待しています。
統計情報が公表され分析されると生活に役立ちそうです。



【行政職員】

入力時のチェック機能をしっかり作って事前処理されているから、行政内での事後処理が殆ど不要になり本来業務にしっかり取り組めるようになりました。手続きの合理化も不断の取組として進めたいですね。
RPA等、他の改善取組との連携も検討しやすいね。
事前に統計処理までなされると、人為誤りがなく政策決定のための基礎情報への信頼性が高まるよね。

【実施内容】

- ・手続きの更なる合理化(AI化等)
- ・自動処理の拡充(利用者への応答、統計処理、OpenDataサイトへ自動登録等)

SETP3

試行実施

本格実施

電子申請・審査の効率化・簡素化の検討

SETP1 試行実施の具体的内容として、届出・申請等帳票印刷に係る**入力支援サービス**の実施を検討。

現在の検討状況として、年間1億円程度の費用を想定。

POINT!

過去データの再利用



【利用者】

形式審査済み帳票印刷できる入力支援サービスを整備する

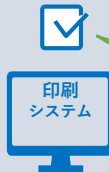
【将来的な検討】

- ・ e-Gov等へのAPI接続
- ・ 内容審査のAI化

POINT!

クラウド化
(安価・迅速に対応)

【形式審査】



POINT!

ワンストップ化
(形式審査を外部化)



【内容審査】



【行政職員】

確認・再提出 (形式要件不備部分) **X**

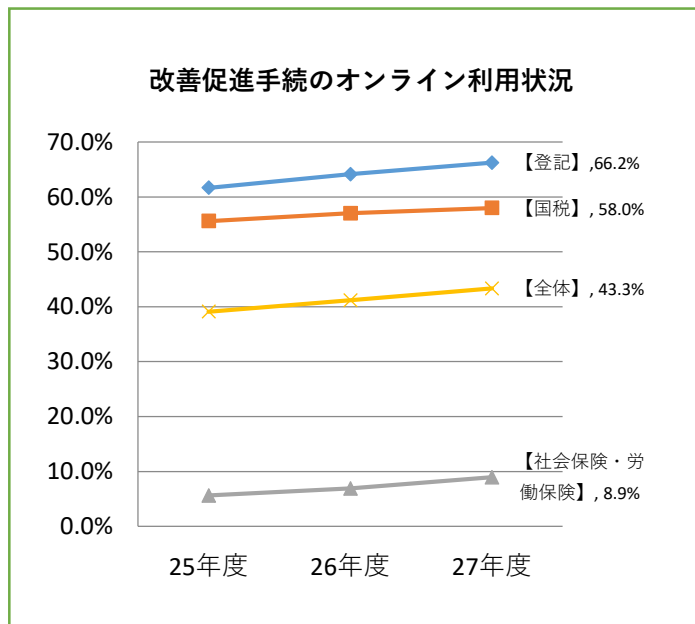
入力支援サービスを整備する上でのコンセプト

- ・ 入力内容の標準化、形式不備の是正等 (法人番号利用による会社名の統一など、内容審査以外の形式審査部分を実装する)
- ・ 形式審査ロジックを公表 (UML等) (民間業者のe-Gov API開発の品質向上、競争性を持たせ運用コスト低減を図る)
- ・ クラウドシステムとして整備 (高速開発ツールの利用を可とし、クラウドシステムとして整備することにより、将来的な拡張性や要件の変化に迅速な対応ができるよう整備)
- ・ 費用対効果を勘案し、申請数が多い数帳票について試験的に実施

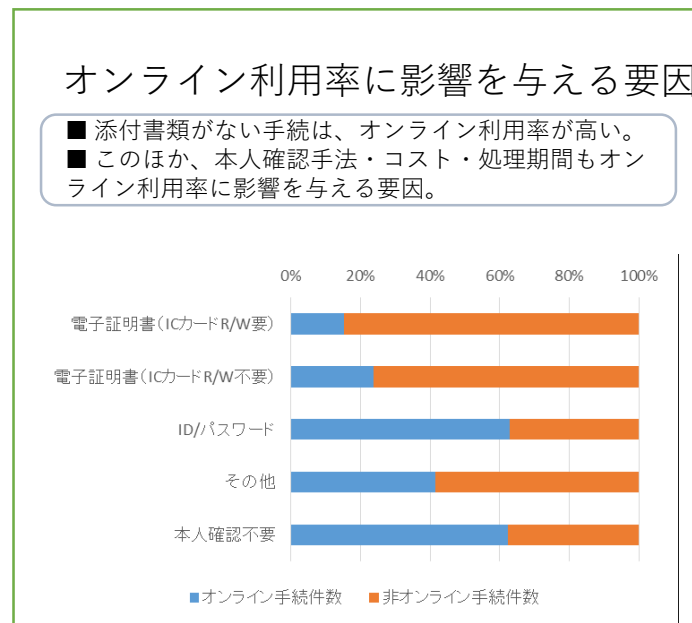
【参考】

オンライン利用状況が比較的高い国税のe-Taxなどの取組の良いところを採用することが電子申請率の向上に寄与すると考えられる。採用する点として、①本人確認を要さずに帳票印刷できる機能②過去の入力内容の再利用機能③WEBサイトにおけるチェック機能の実装等を想定。

(内閣官房IT総合戦略室によれば、オンライン利用率に影響を与える要因について、①添付書類の有無②本人確認手法等として分析されている。)



※総務省 平成28年12月22日「改善促進手続のオンライン利用状況」(データをグラフ化)



※平成30年3月30日内閣官房IT総合戦略室総務省「行政手続等の棚卸結果等の概要」(抜粋)